

平成25年度  
市民活動支援事業

成果報告書

## はじめに

少子高齢化や過疎化などの進行する今日の社会情勢の中で、地域の抱える課題や市民ニーズも複雑・多様化していることに伴い、市民が自発的に地域の課題を解決していこうとするボランティア活動や市民活動が活発化し、その活動領域も拡大してきています。

このようなことから、本市においては、平成20年3月に「第一次霧島市総合計画」を策定し、政策の一つに「共生・協働のまちづくり」を掲げ、市民参加によるまちづくりを推進しており、平成22年3月には、その指針となる「霧島市共生・協働に関する指針」を策定し、行政だけでなく地区自治公民館・自治会やボランティア団体、NPO団体などが相互の理解と信頼のもと、それぞれの果たすべき責任と役割を自覚し、対等の立場で、共通の目的を達成するために連携・協力しながら、地域の様々な課題の解決や必要なサービスの提供を行うこととしております。

「霧島市市民活動支援事業」は、「共生・協働のまちづくり」の一環として、平成20年度から、市民活動団体が行う公益的・公共的な活動に対して、その経費の一部を補助するという事業であり、これまでの6年間で、88団体、総事業費約5,480万円、補助金総額2,358万円という実績を挙げており、また、平成25年度市民意識調査の報告によると、まちづくり活動に参加している割合は55.3%（1%の増）となっており、市民参加によるまちづくりが広がりつつあるところではあります。

平成25年度は、10団体がこの制度を活用し、様々な活動に取り組み、まちづくりの推進を図る活動や、学術・文化・芸術又はスポーツの振興を図る活動、子どもの健全育成を図る活動など、本市における喫緊の地域課題に取り組む素晴らしい活動が行われたところです。

この「平成25年度霧島市市民活動支援事業成果報告書」は、これらの事業の活動内容や成果等を広く市民に知っていただくとともに、今後の市民活動の参考としていただくことにより、「共生・協働によるまちづくり」が本市全体に更に広がることを期待して取りまとめたものです。

# 目 次

## ◆ 平成25年度霧島市市民活動支援事業 実施団体成果報告

1	霧島市溝辺ふるさと祭り実行委員会	1
2	生命のメッセージ展@霧島の学校実行委員会	3
3	特定非営利活動法人陽だまり	5
4	オーシャンビューガーデンクラブ	7
5	特定非営利活動法人Ryoiku Circle はなはな	9
6	特定非営利活動法人 霧島食育研究会	11
7	日当山夏祭り実行委員会	14
8	霧島市子ども囲碁教室実行委員会	16
9	エコミュージアム福山	18
10	特定非営利活動法人霧島シニアネット絆	20
11	霧島隼人秋の収穫祭実行委員会	23
12	こどもエンカレッジアート	25

## 〈 参 考 〉

・ 平成25年度 霧島市市民活動支援事業募集要項（抜粋）	27
・ 平成25年度 霧島市市民活動支援事業応募・採択内訳	28
・ 平成25年度 霧島市市民活動支援事業 実施結果	29

# 霧島市溝辺ふるさと祭り

<霧島市溝辺ふるさと祭り実行委員会>

事業費：451,309円

市補助金：150,000円

## 目的（背景・課題）

溝辺地区では販売農家数が多いが、高齢化や後継者不足の課題があり、溝辺町にて昭和57年に農業祭として「農村振興大会」を開催し、また「文化祭」をとりまとめて29回の開催があった。

30回目より住民主体の祭りとなり溝辺地区住民の恒例行事となっている。

農業者や住民が一体となって取り組む祭りの存在意義は大きく、農業振興の一助を担っており、住民主導で行う今回で32回目の祭りによって、より一層の地域活性化を図る。

## 事業内容

実行委員会を5月から開催し、関係部署への交渉並びに打合せを行った。

○溝辺ふるさと祭りの実施

日時：平成25年11月2日（土）～3日（日）  
午前8時30分～午後4時

場所：上床公園

対象者：地域住民・一般市民

参加者数 1,500名推定

スタッフ数 90名

内容：11月2日～3日

作品展示（文化協会、1幼稚園、3小学校、  
2中学校）写真展（4保育園）

11月3日

舞台発表（文化協会、1保育園、3小学校、  
1公民館）

農林産物販売（各農林業団体等）及び品評会  
地元特産品等抽選会

## 事業の成果

文化祭と農業祭を併せて開催することができ、農林産物の品評会・販売促進で地産地消が図られた。また、舞台発表や郷土芸能の発表で、伝統芸能の継承等が図られ、郷土愛の意識を深められる等、溝辺地区の地域活性化につながった。

## 自己評価

### 1. 事業効果

期待した効果が上がった。

### 2. 改善すべき課題

なし。

### 3. 予算執行

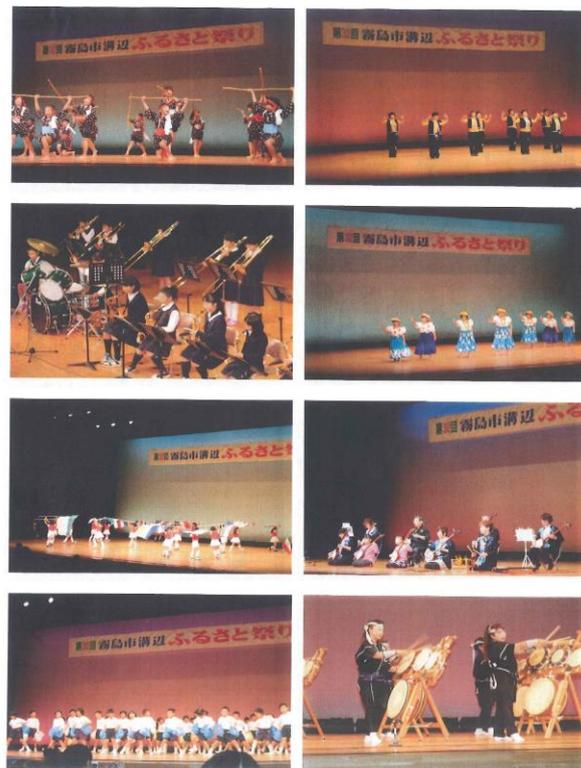
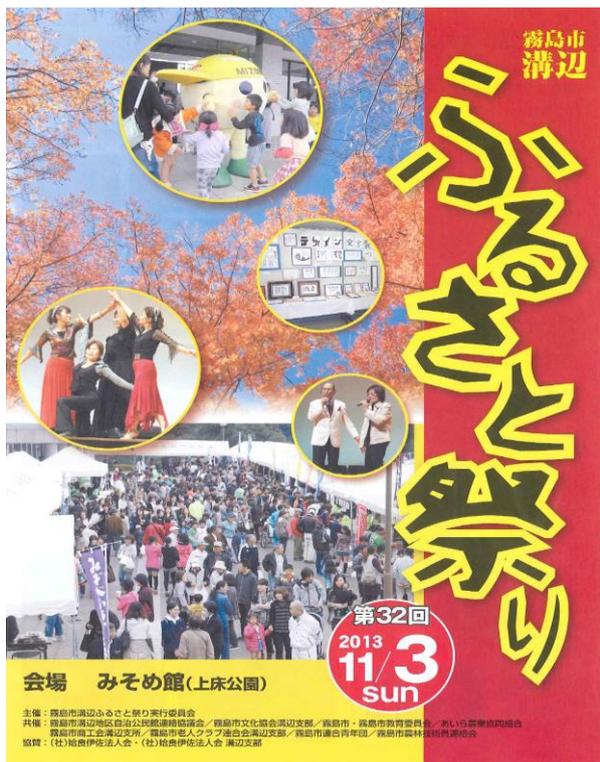
多少の変更があった。

### 4. 今後の展望

今後、農業者や住民が一体となって取り組む溝辺ふるさと祭りの存在意義は大きいため、住民主導の祭りとして、より一層の活性化をめざして、開催して行く。

### 5. その他

開催のための資金活動が継続するためのポイントである。



## 団体情報

〈団体名〉霧島市溝辺ふるさと祭り実行委員会

〈代表者〉岩元 晃一

〈設立日〉平成 23 年 8 月 11 日

〈会員数〉10 人

〈主な活動内容〉

平成 23 年 霧島市溝辺ふるさと祭り

平成 24 年 霧島市溝辺ふるさと祭り

〈連絡先〉

所在地

〒899-6401

霧島市溝辺町有川 212 番地

TEL 0995-59-2705

## 生命のメッセージ展@霧島の学校

<生命のメッセージ展@霧島の学校実行委員会>

事業費：387,175円

市補助金：240,000円

### 目的（背景・課題）

#### 背景

2011年に、特定非営利活動法人「いのちのミュージアム」が、霧島市民会館において、講演会、映画上映を含む「生命のメッセージ展 In 霧島」を行い、多くの市民が来場された。

「生命のメッセージ展」とは、犯罪・事故・いじめ・医療過誤・一気飲ませなどによって、理不尽に生命を奪われた犠牲者ひとりひとりの等身大の人型パネルに、本人の写真及び生前履いていた靴を展示します。

当実行委員会は、このときの趣旨に賛同し、霧島市内の児童生徒に「命の大切さ」を考える機会を与え、「生命のメッセージ展」を霧島市で育てていくため、当補助事業を活用し、2012年10月の隼人中学校での開催等を展開した。

### 事業内容

- 1 霧島市内の学校に対し、「生命のメッセージ展」の開催希望を聞き、開催する。
  - 2 22名のメッセンジャーを霧島市での活動専用に購入する。
  - 3 H25年度開催学校 3校
  - 4 学校以外に、霧島市主催の「人権作文フォーラム・イン牧園」会場で、展示を行った。
- 隼人工業高等学校  
平成25年11月2日
  - 日当山中学校  
平成25年11月8日
  - 佐々木小学校  
平成26年3月7日～13日
  - 「人権作文フォーラム・イン牧園」  
平成25年12月8日

### 事業の成果

- 1 十分に事業を行うことができなかった。
- 2 引き続き実施のため、未実施の学校への開催希望を伺う。

2013年11月2日 隼人工業高校でのメッセージ展



## 自己評価

1. 事業効果  
あまり効果があがらなかった。
2. 改善すべき課題  
あった。(学校行事との擦り合わせ等)
3. 予算執行  
ほぼ予定どおり執行できた。
4. 今後の展望  
今後、霧島市内全ての学校で開催を目指し、学校や県教育委員会等へ働きかけていきたい。
5. その他  
メッセージ展の参加者の感想意見から、「生命の大切さ」を知る良い機会になっていると強く感じた。

2014年3月7日～13日 佐々木小学校でのメッセージ展



201312月8日 「人権作文フォーラム・イン牧園」でのメッセージ展



## 団体情報

〈団体名〉生命のメッセージ展@霧島の学校実行委員会

〈代表者〉高橋 芳徳

〈設立日〉平成24年9月1日

〈会員数〉5人

〈主な活動内容〉

1. 「生命のメッセージ展」平成24年3月7日～15日 国分中学校
2. 「生命のメッセージ展」平成24年3月18日～22日 霧島高等学校
3. 「生命のメッセージ展」平成24年12月9日 平山小学校

〈連絡先〉

所在地 〒899-5115

霧島市隼人町東郷1048番地3

TEL 090-7705-0443

# 自閉症支援セミナー

<特定非営利活動法人 陽だまり>

事業費：873,674円

市補助金：78,000円

## 目的（背景・課題）

発達障害児（自閉症等）は年々増加傾向にあるといわれているが、診断がなされても適切な支援・療育を受けられる場が極めて少ない現状である。そのような適切な支援・療育を必要とされるニーズに答えること。幼稚園・保育園から小学校、小学校から中学校と発達障害児（自閉症等）の進級に伴う障害特性等の情報のつながりも地域での課題となっていること。発達障害児（自閉症等）の特性を見る視点を正しく理解しているのと否とでは療育方法に大きくずれが生じ、強いては発達障害児（自閉症等）の将来に大きな影響を及ぼす結果となること。これらを踏まえて、発達障害児（自閉症等）の支援・療育に携わる関係者が自閉症の理解と支援方法について継続的に学び、現場での一貫し、継続した支援・療育がなされることを願い、本事業を継続事業として計画し、霧島の地から発信したいと考えた。

## 事業内容

フレームワークを活用した自閉症支援セミナー  
対象者 教育、支援・療育事業所、行政（福祉）  
の関係者、保護者、一般

会場 国分総合福祉センター

① 第1回 6月1日～2日

1日目 42名（会費：3,000円）

「自閉症の特性について」

「構造化された指導・支援について」

2日目 定員29名（会費：6,000円）

ワークショップ「アセスメントから自立までのプロセスについて」

② 第2回 8月3日～4日

1日目 30名（会費：3,000円）

「幼児期から成人期への一貫した支援のあり方、自閉症の教育内容と設定、就労支援プロセスについて」

2日目 15名（会費：6,000円）

ワークショップ「様々なアセスメントについて、フレームワークを使った支援計画、実際に自立を支援してみよう」

③ 第3回 11月9日

1日目のみ 22名（会費：6,000円）

ワークショップ「スタートのアセスメントについて、教室（事業所）の環境設定について」

④ 第4回 2月22日～23日

1日目 15名（会費：6,000円）

「自立課題について（未就学事例・学齢後期事例の選択）」

2日目 名（会費：6,000円）

「行動支援・自己認知支援について」

自閉症指導・支援に必要なスキルアップや、指導・支援を支える6つの考え方の理解、生活デザイン思考の個別指導・支援計画のプロセスの理解（自立のプロセスを含む）を学びます。2日間を通して、現場でスタートし、継続して実施していただくためのイメージ作りを体験的に学ぶことができます。

①～④の講師（トレーナー） 水野 敦之氏

社会福祉法人つつじ（広島県）

川崎医療福祉大学 大学院講師

## 事業の成果

参加された方々より、支援困難な児童が手立てを講じることで安定したり、支援が必要でないと

思われきた児童が特性に基づいてみていくと課題がみつかったりと、参加者がその所属先で実感したとの意見があり、地域に理解・認識の根がでてきた。

### 自己評価

- 1. 事業効果**  
期待していた以上の効果が上がった。
- 2. 改善すべき課題**  
テーマ設定に主催者側と参加者側との温度差があるものの、参加者側のニーズのみにとらわれず、各回のテーマ設定の段階でワークショップ等により内容を充実したものに高めるよう努めること。
- 3. 予算執行**  
大きな変更を余儀なくされた。  
参加者の変動によって、収入が変動したので、経費削減に努めた。
- 4. 今後の展望**  
「自閉症を主に地域福祉の啓発事業」の考えを基に、支援者向けに「セミナー」を、新たに保護者・一般向けに「自閉症の保護者や家族又は本人による講演会」を行い、自閉症啓発の底辺拡大に努めたい。
- 5. その他**  
参加者から所属先での取り組み結果や開催テーマの要望等を聞くところ、事業の意義や期待感を感じることができた。

開催日：11月9日

座学



課題作成 (グループ討議)



作成後の発表



開催日：2月22日・23日

座学



課題作成 (グループ討議)



課題のまとめ



発表



### 団体情報

〈団体名〉特定非営利活動法人 陽だまり

〈代表者〉伊藤 悦朗

〈設立日〉平成23年6月27日

〈会員数〉49人

〈主な活動内容〉

増加傾向にあるといわれる発達障害児（主に自閉症）に特化して、専門性を持った療育を児童福祉法に基づく事業所にて実施する。

自閉症への理解と支援方法を広めるため、教育・行政・療育・保護者を対象にセミナーを開催する。

〈連絡先〉

所在地

〒899-4322

霧島市国分福島一丁目19番20号

TEL 0995-46-6247 (FAX 兼用)

#### 平成25年度 自閉症フレームワークセミナー1 ～自閉症の特性について、構造化された指導について～ ～自閉症の特性、アセスメントから自立までのプロセスについて～

自閉症はスペクトラム（連続帯）と呼ばれている、脳機能の障がいです。スペクトラムとは、虹色の色合いのように例えられることがあります。一人ひとり色合いの違いや強弱により、自閉症のお子さんの特性も、一人ひとり違いがあります。お子さんの自閉症の特性を理解することで、様々な行動の意味を知るための手がかりの一つになればと思っています。  
また、自閉症の方々が、空で買の高貴自立した生活を送るうえで、構造化のアイデアについて学び、実践の場を活かして頂けたらと考えております。自閉症の特性と軸とした一貫性のある指導や支援について、多くの方に知っていただければと思います。ぜひ、お気軽にご参加ください！

講演内容	1日目：「自閉症の特性について」「構造化された指導・支援について」「家庭での構造化のアイデアについて」 2日目：基礎ワークショップ「アセスメントから自立までのプロセスについて」		
日時	平成25年6月1日（土曜日） 受付9:30 開始10:00～15:30 平成25年6月2日（日曜日） 受付9:00 開始9:30～16:30		
場所	国分総合福祉センター3F 大会議室（霧島市国分中央3丁目33-10）	定員	1日目：80名 2日目：42名
参加対象者	保育士、教員、福祉関係者、行政関係者、学生、保護者、一般の方		
参加費	1日目：3000円 2日目：6000円 ※当日、受付にてお支払いください。陽だまり会員の方は、割引がございます。		
申込方法	メールもしくはFAX 参加者には、受付確認のメールもしくはFAXをさせていただきます。		
お問い合わせ先	TEL/FAX：0995-46-6247 E-mail：rpo.hidamari.koj@gmail.com		

#### 講師紹介

水野 敦之 氏

- ・社会福祉法人つづき（広島県東広島市）
- ・広島県発達障害者支援センター サポートコーチ
- ・児童発達支援センター ぐるんぱ 統括ディレクター
- ・川崎医療福祉大学 大学院講師
- ・著書『きづき』と『できる』から始める フレームワークを活用した自閉症支援
- ・国内各地の事業体・地域での自閉症支援コンサルタントやコーディネーターとして活躍されており、自閉症の人たちの生活や行動・余暇・就労など、幼児期から成人期までの幅広い取り組みをされてい



# 旧田中家別邸を生かすふるさと再発見事業

事業費：198,100円

## <オーシャンビューガーテングラフ>

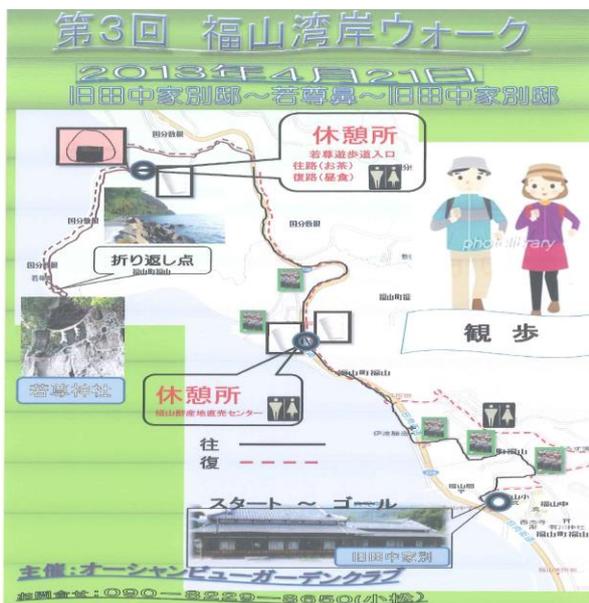
市補助金：60,000円

### 目的（背景・課題）

県及び市指定有形文化財で郷土が誇る「旧田中家別邸」は、主、田中省三翁の建造物、庭園、旧福山中学歴史資料館、東野駄句楼句碑等、観る者を引きつける魅力ある素晴らしい施設であり、一般に無料開放されている。当事業は、この魅力ある施設を市内外に広くアピールし再発見して頂く事を目的とする。その一端として、現状の施設を生かしたイベントを企画、開催する。

### 事業内容

- 1 福山湾岸ウォーク H25. 4. 21  
参加者数 36名
- 2 街歩き団体案内  
H25. 9. 23 35名  
H25. 10. 11 36名
- 3 故里を語る会 H25. 11. 3  
参加者 15名（県外の帰省者を含む）
- 4 福山湾岸ウォーク・田中別邸庭園霧島神楽演舞会 H25. 12. 8  
ウォーク参加者 67名、神楽見学者 85名



### 事業の成果

- 1 ウォークは、ある程度浸透し、参加者からは是非次回もと要望があった。参加定員を増やしてほしいとの要望があるが、人員が不足して回答されていない。福山と旧田中別邸の知名度もアップしている。
- 2 故里を語る会は、出席者はまだ少ないが、東京・大阪の福山出身者の会でも、取り上げられ帰郷日を調整する声もあがっている。
- 3 神楽は鹿児島市、鹿屋市等の市外から参加している人に特に好評だった。霧島市内の参加者でも初めて神楽に触れる人も多かった。郷土芸能に触れる機会を提供できた。



## 自己評価

1. 事業効果  
期待した効果が上がった。
2. 改善すべき課題  
なかった。
3. 予算執行  
ほぼ予定どおり執行できた。
4. 今後の展望  
ウォークについては、集客も収支も計画通り実行できる目途がついた。ただ、実施することが地域の活性化につながるのか考慮中である。
5. その他  
特になし。



## 団体情報

〈団体名〉 オーシャンビューガーデンクラブ

〈代表者〉 恒吉 明美

〈設立日〉 平成 23 年 6 月 1 日

〈会員数〉 12 人

〈主な活動内容〉

平成 23 年 5 月 クラブ結成

平成 23 年 句碑（東野駄句楼「冬うらら・・・」に関する資料の整理実施

平成 23 年 11 月 ふるさとの思い出の会実施（参加者 43 名）

平成 23 年 12 月 おきな草の植栽、手入れ実施

〈連絡先〉

所在地 〒899-4501

霧島市福山町福山 3136

TEL 0995-55-2618 (FAX 兼用)

E-mail akemi17@po3.synapse.ne.jp

平成25年度霧島市市民活動支援事業

2013年12月8日(日)開催

霧島市福山町「旧田中家別邸」

大正ロマン「旧田中家」時代とともに

霧島神楽が舞う舞台

【午前のひととき】  
第4回 福山湾岸ウォーク & 霧島神楽

Aコース(約9km)  
Bコース(約2km)

【午後のひととき】  
第7座 長田の五神楽  
第8座 新中・山神楽

駐車場 (下記をご利用下さい)  
1:福山小学校庭  
2:福山地鉄会場  
3:旧田中家別邸駐車場

MAP

主催:オーシャンビューガーデンクラブ  
後援:霧島神楽保存会  
お問合せ先:090-7445-8854(恒吉)

# 発達に課題を抱える子どもたちにスポーツの楽しさを

## <特定非営利活動法人 RyouikuCircle はなはな>

事業費：897,894 円

市補助金：442,000 円

### 目的（背景・課題）

体を動かすこと、友達と遊ぶことやコミュニケーションをとることが苦手といった発達に何らかの課題を抱える子どもたちは、スポーツや、体を動かす楽しい経験をするのが、とても難しいことです。このことは、友達との交流を妨げたり、苦手意識を芽生えさせたり、学校が嫌になったりという短期的なマイナス面だけではなく、生涯にわたり引きずってしまうこととなります。

そこでこのような子どもたちに、スポーツや体を動かす楽しい経験をする機会を与えることで、人生の質を改善する援助を行うものです。

### 事業内容

#### 1 スポーツ教室

- 第1回 H25.11.2 参加人数 29人
- 第2回 H25.12.21 参加人数 23人
- 第3回 H26.1.11 参加人数 24人
- 第4回 H26.2.8 参加人数 22人
- 第5回 H26.2.15 参加人数 18人
- 第6回 H26.2.15 参加人数 22人

##### ①楽しく体を動かそう

個々の得手不得手に合わせて、「体を動かすって楽しいんだ」と感じてもらう。

##### ②球技を楽しむ

各種球技、或いはニュースポーツを通じて、楽しくルールを理解、チーム競技、自分の好きな球技を見つける。

#### 2 水泳教室

- 第1回 H25.8.16 参加人数 2人
- 第2回 H25.8.23 参加人数 2人
- 第3回 H25.8.30 参加人数 3人

##### ①水を楽しむ

プールで水の楽しさを体験する。

### 事業の成果

「水を楽しむ」では、日頃プールでの活動を経験することの少ない、筋ジストロフィー症、二分脊椎、進行性脊髄性筋委縮症などの最重度の障がいを持つ子どもたちと家族の方が参加されました。はじめは怖がっていましたが、最後はそれぞれの泳ぎ方で楽しんでいました。三回だけのプログラムでしたが、終了後も父親と毎週プールを利用するようになった家族もありました。

「楽しく体を動かそう」「球技を楽しむ」では、普段身体を動かす機会が少ない、或いは身体を動かすことに苦手意識を持っている子ども達が、楽しく参加できるように簡単な運動課題をゲーム感覚で取り入れ、次第に難易度を上げていき最後は簡単な球技で終わるという5回のプログラムを作成しました。

子ども達の年齢、障がい、発達の課題はばらばらで、臨機応変にプログラムを変更したり、講師やスタッフの対応を協議したりしなければなりませんでしたが、回を追うごとに子ども達の笑顔が増え最後まで持続して参加できるように持久性、注意力も増してきました。最後は車イスバスケットの観戦と体験で締めくくりましたが、全員が参加しゲームまで行うことができました。

平成25年7月8日  
保護者の皆様へ  
特定非営利活動法人 RyouikuCircle はなはな  
理事長 前原 利彦

#### 水泳教室のご案内

7月に入り、夏も本番となってまいりました。皆様におかれましてはお元気で過ごさることを拝願いたし、お喜び申し上げます。  
さて、この夏、日頃プールを利用することの少ない、身体の不自由な子ども達を対象に、専門の講師のもとで、楽しく水に触れ、親しみ機会になればと、水泳教室を企画致しました。以下の内容をご検討のうえ、7月31日までに下記の申し込み用紙にてお申し込みください。皆様のご参加を心よりお待ちしております。  
なお、この水泳教室は鹿児島市の「市民活動支援事業」の支援の下で開催致します。

#### 記

1. 対象者：日頃プールの利用に制限のある、身体の不自由な小学生(ことばによる意思表示の可能な方)
2. 定 員：各回5名
3. 日 時：第1回～8月16日(金) 13:30～15:30  
第2回～8月23日(金) 13:30～15:30  
第3回～8月30日(金) 13:30～15:30
4. 場 所：国分総合プール(専用コース) 鹿児島市国分中央1-14-78
5. 講 師：NPO法人 健康づくりフォーラムより  
中水着・スイミングキャップ・タオル・着替え・飲み物等ご準備下さい。  
※当日、体調の悪れない方は、参加をご遠慮いただきますようお願いいたします。  
※原則として、保護者の方が本車を牽引してご参加ください。  
※お問い合わせは、はなはな 0995-73-4195・前原まで。

以上



水泳教室申し込み用紙

対象児氏名(年齢)	〔 〕歳		
保護者氏名	〔 〕歳		
住所・電話番号			
希望日	第1回～8/16	第2回～8/23	第3回～8/30
支援や介助の際に 気をつける点など			

## 自己評価

### 1. 事業効果

期待していた以上の効果が上がった。

### 2. 改善すべき課題

参加者が多すぎて、講師、スタッフの数が足りませんでした。参加者は10名程度が妥当と思われました。

### 3. 予算執行

多少の変更があった。

講師との打合せで、参加者の数とリスクの面から講師の数を増員し、ボランティアは募集せず代わりに外部よりスタッフを募集することで対応しました。このため、講師費用、スタッフ費用が予定よりも増加しました。

### 4. 今後の展望

今年度を通じてノウハウを蓄積することができ、今後は定員を少なくして年間を通じての活動として、当法人で事業化できる見通しが立ちました。

### 5. その他

なし

活動状況写真



## 団体情報

〈団体名〉 特定非営利活動法人

RyouikuCircle はなはな

〈代表者〉 前原 利彦

〈設立日〉 平成21年4月設立登記

(平成18年6月から活動)

〈会員数〉 11人

〈主な活動内容〉

- ・個別療育（障がいを持つ子どもや、その両親を支援する個別療育）
- ・リトミック、絵画教室など

〈連絡先〉

所在地

〒899-4305

霧島市国分郡田238番地1

TEL 0995-73-4195 (FAX 兼用)

URL: <http://hanahana.offmaehara.com/>

保護者の皆様へ

平成25年9月17日

特定非営利活動法人 Ryouiku Circle はなはな  
理事長 前原 利彦

### スポーツ教室のご案内

9月に入り、ようやく過ごしやすい季節となりました。皆様におかれましてはお元気でお過ごしのことと拝察いたしました。お喜び申し上げます。

さて、この度、身体を使って遊ぶ機会がなかなかない、球技が苦手…そんな子ども達を対象に、専門の講師のもとで、楽しく身体を動かす機会になればと、スポーツ教室を企画致しました。以下の内容をご検討の上、10月19日までに下記の申し込み用紙にてお申し込み下さい。皆様のご参加を心よりお待ちしております。なお、このスポーツ教室は霧島市の「市民活動支援事業」の助成の下で開催致します。

記

1. 対象者：小学生以上中学生まで
2. 定員：各回40名  
(定員を超過する場合は、参加回数の多い方を優先します。10月26日に決定し、お知らせ致します。)
3. 日時：全6回

月	日 (曜日)・時間	月	日 (曜日)・時間
11月	2日 (土)14:00～16:00	9日 (土)	15:30～17:30
12月	21日 (土)14:00～16:00		
平成26年1月	11日 (土)14:00～16:00		
2月	8日 (土)14:00～16:00	15日 (土)	14:00～16:00

4. 場所：華人体育館 霧島市華人町内山田1丁目14-16
5. 講師：NPO法人 健康づくりフォーラムより
6. プログラム：前半…楽しく身体を動かそう。後半…ボールを使って運動しよう。  
※当日は動きやすい服装で。体育館用シューズ・タオル・飲み物等ご準備下さい。

お申し込み、お問い合わせは、0995-73-4195 (FAX 73-4304) 前原まで。



以上

対象児氏名 (年齢)	スポーツ教室 申し込み用紙(ワックス兼用) (10/19締切り)	
	( ) 歳	( ) 歳
保護者氏名		
住所・電話番号		
参加できる日	11/2 ・ 11/9 ・ 12/21 ・ 1/11 ・ 2/8 ・ 2/15	
活動の際に 気をつける点など		

## 第3期 霧島食育サポーター養成講座

～「すがめちゃん食育プログラムの実証」～

< 特定非営利活動法人霧島食育研究会 >

事業費：463,836円

市補助金：154,000円

### 目的 (背景・課題)

#### 背景

霧島市において、多くの市民が「食育」については興味があり、その中でも、生活習慣病の増加、子どもの心身の健全な発育に、高い関心を寄せている。また、地産地消の重要性も認知しているものの、実際の行動に結びつく割合は高くはないという現状にある。(平成20年度霧島市食育推進計画より)

当研究会では、その現状を踏まえ、平成20年度より、当補助事業を活用し、「霧島一汁二菜事業」や「霧島おにぎりプロジェクト」等を展開し、その後もこれらの活動は内容を充実させ継続している。その中で、課題となっているのが、一般的市民及び若者世代の「食育」の意識の薄さと体験の無さだった。

#### 課題

このような状況を踏まえ、若者世代も含む多くの世代の人々が、ひとりひとりが現在の食生活をかえりみ、生活の質を高め望ましい食生活を営む力をつける必要があると思われる。そのために、①適切な食品を選び、調理するための知識・技術の習得②「食事が楽しい!」と感じることのできる環境作り③旬の食べ物の味の違いや、素材の特徴、出汁の風味が分かる味の教育④食品の生産から消費までの社会の仕組みや、環境問題の中で「人が食べて生きていく」という意味を知る教育、など「豊かな食体験」とそれを促す教育が必要であると感じた。

平成23年度及び24年度は、当補助金を活用し、「霧島食育サポーター養成講座」を開催し(研修会16回開催、延べ参加者181名、食育サポーター認定者59名)、

その内容をまとめた「すがめちゃん食育プログラム」冊子を作成した。

平成25年度以降も、市民を対象に食育リーダーの育成講座を行い、一般市民及び若者への食に対する意識と行動の変化を促す必要がある。さらに在居住地及び職場・学校等での食育活動の活性化が求められる。

#### 目的

養成講座に際しては、平成24年度作成の「すがめちゃん霧島食育プログラム」を活用し、一般市民および若者への食に対する意識と行動の変化を促す。さらに、平成23年度及び平成24年度の霧島食育サポーター取得者に対し、実践型の研修会を開催し、食育普及の指導を行う。

また、活動内容を第10回「霧島・食の文化祭」などで参加者が発表し、活動成果を活用したワークショップを実施する。



23年 食育21回



23年 食育21回



23年 食育21回

## 事業内容

### 1 霧島食育リーダー養成講座の開催

対象者①成人向け 前期・後期 各期3回

参加者 58名

②高校生向け 中期 全2回

参加者 16名

内容①成人向け

前期 5月29日・6月21日・7月26日

後期 9月27日・10月26日・11月4日

霧島の食材で地産地消クッキング

霧島版 食事バランスガイド

田んぼで稲刈り&はがま炊飯体験

霧島地大豆で豆腐作り

霧島の食べ物生産現場&直売所研修

霧島の恵み里山創作料理の実習

私の食育活動計画作り&発表 など

②高校生向け 8月2日・24日 2日間

40分で整える1人の自立食卓(一汁二菜)

60分創る大切な人への食卓

調理の基本 鹿児島県の食料事情

日本の食料受給率・食の安全・安心

私にできる「日本の食」を守る方法など

### 2 平成23年度及び平成24年度の霧島食育サポーター取得者向け研修会の開催

全2回 5月11日・2月26日 参加者46名

これまでの活動発表

季節の食材を使った伝統料理と創作料理

今後の活動予定の話し合い など

### 3 第10回「霧島・食の文化祭」での発表及び活動成果を活用したワークショップの開催

来場者 約200名

## 事業の成果

### 1 霧島の食文化への興味啓発及び地域に根ざした食育活動の啓発

霧島市民の人々が、自分の住む地域の食べ物に興味を持ち、その食べ物を中心におき、耕したり、料理したり、また伝えていくことで、自分

の住む場所への誇りや自分が育った環境、親や子への思いを改めて強く感じていくことが出来たのではないかと考える。さらに、食育サポーター参加者自身が主体となって「霧島・食の文化祭」での食育体験ワークショップの運営を行うなど、地域に根差した食育活動の啓発普及に関わる人材育成につながった。

### 2 「霧島食育サポータークラブ」の発足

これまで3年間の食育サポーター養成講座修了者による「霧島食育サポータークラブ」が発足し、26年度より、霧島食育研究会と協力しながら、食育活動の推進事業を展開することにになった。



## 自己評価

1. 事業効果  
期待した効果が上がった。
2. 改善すべき課題  
なかった。
3. 予算執行  
ほぼ予定どおり執行できた。
4. 今後の展望  
霧島食育サポータークラブと連携して  
事業を進めていきたい。
5. その他  
特になし。



10/6 秋ノ収穫祭



## 団体情報

〈団体名〉 NPO 法人霧島食育研究会

〈代表者〉 千葉 しのぶ

〈設立日〉 平成 17 年 9 月 15 日

〈会員数〉 13 人

〈主な活動内容〉

1. 「霧島・食の文化祭」平成 16 年 11 月～年一回開催 現在 8 回開催 延べ参加者 8,200 名 述ベスタッフ数 1,030 人
2. 「霧島の子どもと大人のための食育プログラム」平成 16 年 4 月～現在
3. 「霧島食べ物伝承塾」平成 17 年 4 月～現在 56 回開催 延べ参加者 800 名
4. 「霧島・畑んがっこ」子ども組 平成 17 年 6 月～現在
5. 「霧島・畑んがっこ」畑遊び組 平成 21 年 4 月～現在
6. 鹿児島・大人のための食育セミナー 平成 19 年 4 月開催
7. 棚田食育士養成食育実践講座開講 平成 19 年 7 月～現在
8. 南日本新聞「鹿児島食育レシピ」掲載 平成 18 年 4 月～現在

〈連絡先〉

所在地 〒899-4201

霧島市霧島田口 1653-2

TEL 0995-57-0215 (FAX 兼用)

# 日当山夏祭り

## <日当山夏祭り実行委員会>

事業費：2,636,960円

市補助金：500,000円

### 目的（背景・課題）

従来の日当山夏祭りは花火を中心として開催されていた。それが、新市誕生の折、引き継ぐ者がなくやむを得ず中止となった。何としても再度夏祭りを立ち上げ地域の活性化並びに子どもから大人までの夢希望を育む。小規模でも花火を打ち上げ、日当山温泉に観光客を呼び込みたい。

### 事業内容

地域の財産である温泉、天降川、鮎等をアピールする祭りとして、鮎つかみどりやステージイベントで盛り上がり、夕刻からの打ち上げ花火を天降川の水辺から鑑賞する。

#### ○日当山夏祭りの実施

日時：平成25年8月3日（土）

午後3時～午後9時

場所：日当山温泉公園

対象者：地域住民・一般市民

参加者数5,000名推定

スタッフ数90名

内容：園児・小学生・中学生アマチュアバンド・地域住民・各種団体によるステージイベントや地元特産品抽選会と花火大会



### 事業の成果

夏祭りを開催することで出演者の子ども達、グループ、団体の発表の場ができ、観客の皆さんとの楽しい交流の場がうまれた。

また、鮎をテーマに天降川の水環境の大切さを知り、地域の特産を味わっていただいた。

天降川の川面に映る花火を多くの方々に眺めていただくことで日当山温泉活性化の一助となった。



## 自己評価

1. 事業効果  
期待した効果が上がった。
2. 改善すべき課題  
なかった。
3. 予算執行  
ほぼ予定どおり執行できた。
4. 今後の展望  
天降川や温泉を活かした日当山ならではの祭りを続けることで、地域自慢のできるふるさと興しを目指したい。
5. その他  
資金的に自立するためには更なる知恵とパワーと時間が必要です。



## 団体情報

〈団体名〉 日当山夏祭り実行委員会

〈代表者〉 米徳 満

〈設立日〉 平成 21 年 4 月 1 日

〈会員数〉 10 人

〈主な活動内容〉

平成 21 年～24 年 日当山夏祭り実施

〈連絡先〉

所在地

〒899-5115

霧島市隼人町東郷 1-27

TEL 0995-43-1789

FAX 0995-43-0412

## きりしま子ども囲碁教室

＜霧島市子ども囲碁教室実行委員会＞

事業費：116,003円

市補助金：52,000円

### 目的（背景・課題）

霧島市観光の目玉でもある初午祭の馬頭観音は基盤を削って造られたという由来、また、知的・戦略的思考を育てるとして愛好されてきた伝統文化としての囲碁、それらは、市民として強く認識されてもよい事項である。さらに、近年の囲碁愛好者の増加やたくましい青少年の健全育成が叫ばれている中、中国・韓国に比べて囲碁に触れる機会の少ない児童に、切磋琢磨しながら知的思考など育てていく機会を多く与えてやりたい。第1回の教室は多分にその目的を達成したといえる。そこで、昨年度の実績を基に、指導の工夫・改善を図り、本教室を一層充実させたい。

### 事業内容

この一年間、毎週土曜日午前10時から12時まで、計46日920時間の囲碁教室だった。17名の園児・児童が、平均10名の出席率で、ほぼ計画通り実施できた。計7人の指導者と講師が、毎回3人ずつで子ども達の指導・助言に当たり、途中、テレビ囲碁教室を観戦したり、数名の親が観戦したり、他の老人囲碁同好会員と打ち合ったりして、充実した囲碁教室ではなかったかと思う。

11月に実施した子ども囲碁大会や平成26年2月に行われた鹿児島市での段級位認定大会では、日頃の学習成果を発揮し、緊張した面持ちの中にも楽しそうに参加していた。

霧島市の後援も受けての本教室も、2年目を終えるわけであるが、本事業の目的達成に向けて、真剣にそして楽しく展開できたものと自負している。

### 事業の成果

囲碁に関する基本的な見方、考え方が初年度に比べて次第に高まり、相互に囲碁を楽しんでいるムードが増えてきた。囲碁は、相手の心を読み、自分の構想を練るところに良さがあり、そのことが棋力の向上と人間性の高揚につながっていく。本教室はまさにその過程にあり、有意義であったと思う。

鹿児島で行われた囲碁の段級位認定大会や本教室での認定大会では、8割の子ども達が昇級し、個人差はあるにしても、みな喜々として取り組んでいた。

加えて異年齢、異なる学校の子どもの触れ合い、そして、高齢者との触れ合い等を通して、人間としての社会性等が大いに養成されていると感じ、本事業の効果は計り知れない。

### 教室風景



## 自己評価

1. 事業効果  
期待した効果が上がった。
2. 改善すべき課題
  - ・異年齢、能力差に対する効果的な在り方
    - ①指導者増員
    - ②教室の増加
  - ・指導時数の拡充
    - ①指導者の増加
    - ②ボランティア精神の拡充
3. 予算執行  
ほぼ予定どおり執行できた。
4. 今後の展望  
囲碁教室の拡充
5. その他  
指導者や講師のボランティア精神や良き  
連係プレイにより、本事業の目的達成に大  
きく貢献できた。



### 第3回 霧島市民囲碁大会の開催について

平成25年8月26日

霧島市民囲碁大会実行委員会

本大会は囲碁に興味・関心を持つ市民が、囲碁を通して相互の親睦と棋力の向上を図ると共に、囲碁愛好者の拡充と市民文化の高揚を目指して次のような要項で実施する。

- 1 日時 平成25年11月10日(日) 受付8:30、試合開始9:30
- 2 場所 霧島市総合福祉センター2階大広間
- 3 後援 霧島市、南日本新聞社、松元清子、緒方節子、焼とりの  
仙ちゃん(45-4475)、有限会社 萬藤酒造(45-0112)
- 4 参加者
  - (1) 霧島市に居住または勤務している囲碁愛好者(青少年・一般)
  - (2) 棋力は自己申告、または囲碁愛好会等に属してある段級位
  - (3) 参加費 各人1000円
- 5 申し込み方法
  - (1) 囲碁同好会等の代表者 または個人で下記担当者に申し込む。  
清藤 090-6897-2358、木下 45-0678、島田 080-3229-5568  
47-4321
  - (2) 申込期日 平成25年11月1日(金)の午後5時までとする。
- 6 対局方法
  - (1) 対局の編成は参加者数等により、四段・同級または1~2段・級差位の組をつくる。但し、7段以上の者は互先とするが、6段以下の者でも希望者はこれに参加できる。
  - (2) 対局方式は、組編成毎の総当たり戦とし段級差一子のハンディ、四位者はコミ6日半とする。
  - (3) 各組の1位2位半までを表彰する。(四位者が複数の場合は抽選または決定戦)
  - (4) 対局時間は70分以内とし、これを超える場合は秒読みとする。(1手10秒以内)
- 7 その他(今後の展望などを含めて)
  - (1) 本大会で籍問題が生じた場合、または運営のすべては主催者一任とする。
  - (2) 大会参加者の募集は、各同好会等へ紙面で連絡するか、または各学校及び市民報、その他の関係機関を通じて通知する。
  - (3) 大会参加者数により、トーナメント方式、または敗者復活戦等も考える。(この場合、各組の編成は五段以上、四段~初段、級位者の部等とする)
  - (4) 協賛者または後援団体等の拡充を考慮する。



## 団体情報

〈団体名〉霧島市子ども囲碁教室  
実行委員会

〈代表者〉清藤 栄

〈設立日〉平成23年9月20日

〈会員数〉7人

〈主な活動内容〉

平成23年11月20日霧島市市民囲碁大会  
開催(68名参加、内、小学生1人)その  
前10月29日(土)より11月9日(土)まで  
毎週計4回子ども囲碁教室(参加者33名)  
を開催し、同20日は子ども囲碁大会を挙  
行する。

〈連絡先〉

所在地 〒899-4346

霧島市国分府中町17-36

TEL 0995-47-4321

# 福山まるごと博物館

## <エコミュージアム福山>

事業費：254,617円

市補助金：78,000円

### 目的（背景・課題）

昨年度は、ゴッタン名手だった荒武タミの生誕地である福山町比曾木野地区での荒武タミ標柱設置と同時にゴッタン・コンサートを実施し比曾木野の魅力を地区内外に発信した。また、かつて錦江パールとして福山の重要な産業であったにもかかわらず、衰退の一途にあるミカンに注目し、ミカン狩りを実施した。また、福山町民の参加による福ふくコンサートを旧田中家別邸において実施した。また、黒酢の里づくりの活性化のために黒酢会社8社とのコンタクトをとり黒酢の里づくりのための構想を広げた。これらの活動の中で、福山の地域資源の豊かさを学び発信することができるのと同時に、地域のネットワークを広げることができた。今年度は、このネットワークを活かしながら、福山の地域の魅力を発掘・学習・発信するための活動を一層進め、住民のアイデンティティ形成や町づくり力を高めることを目指しつつ地域の活性化を図る。

### 事業内容

- 1 史跡散策と酢会社めぐり  
7月27日 福山小廻地区  
参加者25人 スタッフ7人  
8月3日 福山大廻地区  
参加者25人 スタッフ6人
- 2 8月実施予定の比曾木野におけるコンサートは中止
- 3 福山まるごと博物館・福山酢マップの作成
- 4 ミカン狩り  
11月30日 参加者60人 スタッフ5人
- 5 福ふくコンサート  
3月22日 参加者160人 スタッフ9人

### 事業の成果

年間の事業に対する地元住民の参加が増えてきたのが、確認できる状態であった。

地域以外の人々の動きが多くなり、福山の自然風景・地域遺産・産業のことが住民間話題になる機会があるとの声を聞くことができた。霧島市市民活動支援事業を受けての活動範囲を、目いっぱい利用できたことの成果である。

福山まるごと博物館  
エコミュージアム福山

# 福ふくコンサート

～お待たせしました～

地域に根ざした市民文化交流コンサートです。  
初春のひととき、旧田中家別邸の庭園を背景に、楽しいひとときを過ごしましょう。  
地元の黒酢会社ひん提供の黒酢やお菓子の試飲・試食もあります。  
コンサートの後は、「黒酢の里マップ」で福山散策をお楽しみください。

霧島市市民活動支援事業

### Concert Program

日時 2014年3月22日(土) 13時30分～15時10分  
入場料金 一般500円(黒酢の里マップ代を含む) 高校生まで無料  
会場 旧田中家別邸

出演者 福山幼稚園園児／福山小学校児童／  
福山中学校生徒／きりしま創造舞台

大塚滋子さん(翻曲)／重信優さん(ゴッタン)

後援：霧島市教育委員会・福山産産組合・オーシャンビューガーデンクラブ(予定)  
協賛：谷口不動産(国分市清水)

主催 エコミュージアム福山 連絡先 090-9728-1760 (池江)



## 自己評価

1. 事業効果  
期待した効果が上がった。
2. 改善すべき課題  
なかった。  
「継続することである」ことが大切である。
3. 予算執行  
多少の変更があった。  
会員の数が減ってしまったこと。
4. 今後の展望  
イベントを通して地域住民が変化してきたことを実感できることから続けていくべき活動である。
5. その他  
会員各々が自分の役割をはたしてきたため事業計画は80%達成できた。特にコンサートとミカン狩りは好評であった。



## 団体情報

〈団体名〉 エコミュージアム福山

〈代表者〉 池江 勝子

〈設立日〉 平成22年5月31日

〈会員数〉 13人

〈主な活動内容〉

- ・平成22年7月25日「エコミュージアム国際フォーラム in 霧島」(参加者約80名)
- ・平成23年3月24日「黒酢の里福山散策と福ふく漁師市」霧島よかこ博覧会企画(参加者約30名)
- ・平成23年7月23日荒武タミ20回忌追悼・ゴッタン・コンサート(約200名参加)
- ・平成23年10月28日比曾木野探索(15名参加)
- ・平成24年1月福山まるごと博物館マップ2万部作成
- ・平成24年3月24日福山渚コンサート
- ・平成24年8月5日比曾木野公民館コンサート、荒武タミさんの標柱と功績説明板の設置
- ・平成25年3月27日福山散策マップの活用  
散策マップの検証と現地検証をした。

〈連絡先〉

所在地 〒899-4352

霧島市国分向花14

TEL 0995-45-1757

## お互いに楽しく支え合うまちづくりに関する事業

### <特定非営利活動法人 霧島シニアネット絆>

事業費：931,096円

市補助金：300,000円

#### 目的（背景・課題）

単人族の霊を慰めるため放生会をすべしと云う宇佐神宮の託宣で全国にこの事業を「単人シニアネットきずな」の会員が中心になって、地域の伝統行事である「浜下り」に参画することで会員のもつ様々な能力を活用して浜之市特産品や魚市などの販売を通して地域の活性化を図ると共に魚獲り踊りなどの伝統文化を青少年に継承して行く事業を行うものである。

#### 事業内容

##### ①花壇整備、植栽等（3月から11月）

浜下りに備え道沿い、公園、八幡屋敷等の菊・花植えに向け、花壇整地肥料入れ耕作等を定期的実施する。

##### ②伝統文化保存、育成、参加の魚とり踊り実施

長年引き継がれている「お田植歌」「琉球踊り」魚とい踊り「広瀬道化おどり」と伝統あるものを、保存・育成するため、子ども達や、青年部の方々に引き継いでもらえる場であった。

##### ③マスゲームの参加、育成

地域の老人会や婦人部の多くの参加でのゲームに観客の方々は感動され、地域の老人会や婦人部、又観客ともども絆が深まる場となった。

##### ④特産品、弁当販売

昨年同様特産品として「浜下り仕出し」「浜下りちらし」やしいたけ等の野菜や果物と販売し、かなりの評価が得られた。数量的に不足の製品もあったため、来年度の改善事項としたい。

##### ⑤浜下り行列参加

年々参列者の数も増え、400名以上との報告を受けた。子ども達の手づくり兜、鎧姿が素晴らしいものに見えた。また子ども達の勇士の姿を目の

前にして、親子の絆や今後の少年の健全育成と地域活性化となりうる。

##### ⑥世代間交流

今回も、世代間交流の一環として計画をたてたが、子ども達の重なる行事のため、参加者が少なく盛り上がりには欠けた。今後はより早く計画を立て子どもたちへの伝達をすべきと反省した。

##### ⑦高齢者の生きがい対策

シニアネット絆として最も重要視している点であるが、閉じこもりの多い高齢者が集う場所ができたこと、又浜下りにおける伝統芸能や多彩な演芸、出店を見学し、1日中笑いのある楽しい時が過ごされたこと、又お互いに色々な世間話や相談の場となり生きがいづくりにつながったと思われる。



## 事業の成果

年を追うごとに、各地域の方々の協力を得ることができた。

真孝公民館地区の皆さんや、富隈地区長寿会、錦江漁港、伽藍神社、熊野神社、富隈地区公民館など多くの方々の協力で実施できた。地域全体で取り組んで行く事の大切さを各自が感じとられた。このことが大きな地域の絆となりお互いに支え合うまちづくりに発展するものであり、地域の活性化にもつながると確信した。

1300年前にタイムスリップ  
**隼人浜下り**  
第14回隼人浜下り 浜の市会場(八幡屋敷・漁協広場)  
ステージプログラム 2013年10月20日(日)

No.	時間	種別	演目	出演者	代演者及び出席者数
	10:00		浜下り実行委員会祝之世委員長挨拶	津土地産少年会会長	
1	10:15	歌謡	お田子の唄・松山トコロ	寺塚 勇 他14名	
2	10:30	大正	津つり・じよんがら女郎	尾上 和子 他14名	
3		舞	熊山節作り唄	藤ヶ谷 氏子 他5名	
4		歌	花笠音頭	坂口 洋子 他4名	
5		レクゾンス	ソーラン祭り節	坂口 洋子 他4名	
6		レクゾンス	龍馬風月	吉野 真実 他4名	
7	11:00	歌	御島島唄	山下 美子 他5名	
8		舞	舟木野きのき	山本 尚美子 他4名	
9		舞	遊船船人唄	松元 純子	
10		民謡	女形音頭	山下 美子 他5名	
11		レクゾンス	かわいいな	三輪 久代 他4名	
12	11:30	レクゾンス	アイナミツク候補	坂口 洋子 他4名	
13		舞	踊り川	徳留 愛莉・飯元 肇	
14		歌謡	地球人唄	徳留 純子 他30名	
15	12:00	レクゾンス	島津道平の唄	山下 美子 他5名	
16		レクゾンス	ブルーライトヨロハマ	山口 美智子 他7名	
17		舞	舞ひとすじ	森 イツ子	
18		歌謡	熱い唄り(いおといおどり)	松元 純代 他10名	
	12:30		武者行列入場		
	12:40		神事(八幡屋敷)		
			市長挨拶		
			富隈自治会公民館長挨拶		
19	13:20	マヌゲム	風はこころ	長寿会会員 35名	
20	13:30	歌謡	広瀬道化唄	松元 美子 他10名	
* 錦江漁港へ移動してください					
	14:50		放生会(はなびとろろ)・神事	琴心庵	
	15:00		振る舞い舞	霧島市青年会・青年部	
	15:00		青空市開始(特産品の販売)	錦江漁協・青年部	
	15:30		音流舞子	全員	
	16:00		歌謡音頭	全員	
	17:00		終り		
	18:00		退会	錦江漁協会館・全員	

※プログラムの変更があるかもしれませんので何卒ご了承ください。  
\*振舞いは、お振込み等の案内を参照してください。  
\*駐車場ご利用の方は、裏面の案内をご覧ください。

協賛/  
霧島シニアネット絆

## 公園植栽作業



## 自己評価

### 1. 事業効果

期待していた以上の効果が上がった。

### 2. 改善すべき課題

世代間交流の場が、子ども達の色々な行事と重なることが多いため交流の日を変更すべきか検討する。

### 3. 予算執行

多少の変更があった。

3年度目の実施にあたり、ほぼ計画に沿って行われたが、予算縮小のため運用に苦慮し、支払の延期等を生じた。

### 4. 今後の展望

地域の住民や自治会、老人会、子ども会など多くの方々の参加のもとで行われる浜下りとして実施されるようにしたい。また高齢者の生きがいの一つとなれることとして取り込んでいきたい。

伝統芸能が継承されることの場を多く作ることにより継承されると思う。

霧島市の伝統の一つとして浜下りを多くの県民に知ってもらいたい。

### 5. その他

伝統ある隼人浜下りの継承の重要性も高まり地域住民の意識も協力も得られるようになった。

演芸大会においても日ごろ学んだ演芸等を披露できる場がもてたことは、生きがいの一つになったといえる。

またチラシを増やし広範囲に配布でき広報の為か多くの来場者があったことは成果となったといえよう。

## 沿道沿い植栽準備作業



## 菊植栽の様子



## 第14回 浜下り 弁当作りのお知らせ



## 団体情報

〈団体名〉 特定非営利活動法人  
霧島シニアネット絆

〈代表者〉 津之地 良

〈設立日〉 平成23年4月4日

〈会員数〉 36人

〈主な活動内容〉

お互いに支え合うまちづくりに関する事業（浜下り・公園等の花植え）のほか、小浜の小牧地区に棚田の再生と景観づくりその他高齢者の日常支援・生きがい健康づくり・絆を活かした災害防止・救援事業、等6事業を計画実施する。

（実績）

港湾道路のドーム菊作り・子どもの安心安全防犯パトロール5年継続中

〈連絡先〉

所在地

〒899-5101

霧島市隼人町住吉 1879 番地 1

TEL 0995-43-1576 (FAX 兼用)

# 霧島隼人秋の収穫祭

事業費：1,205,392円

<霧島隼人秋の収穫祭実行委員会>

市補助金：500,000円

## 目的（背景・課題）

東日本大震災の原発事故により、食の安心安全が見直されている。また、観光でも地産地消が食育と共に、顔の見える収穫物の消費が重視されつつある。特産品の開発、食事メニュー、地域食などの伝承などが、地域の活性化に必要なものであり、また、体験型観光や滞在型観光をになう観点でも、グリーンツーリズムの足がかりとなるためにも、この資源を育てていく意義がある。

## 事業内容

地域の子ども達による体験学習

- 5月29日 芋植え体験（日当山小30名）
- 6月15日 田植え体験（日当山小20名）
- 7月23日 案山子作り体験（日当山小、日当山中学校美術）
- 7月24日～29日 案山子の展示（霧島市役所1F市民ギャラリー）
- 8月25日 お茶摘み体験（宮内地区学童）
- 10月7日 稲刈り体験（12名）雨天
- 10月23日 芋掘り体験（日当山小25名）
- 11月23日 秋の収穫祭（イベント）
- 2月15日 そば打ち体験、おにぎり、ガネ作り（23名）

## 事業の成果

参加者（特に児童）が、初めての米作り、芋掘り体験、お茶摘みなど、地域の特産品や農産物を作ることで、沢山の大人の人とのふれあいなど、多くの体験や感動、思い出ができたと感じております。

また、地域の良さを認識し、ふるさとに誇りを感じてくれ、彼らがそのことを伝えて地域の共生や自然や先人の感謝の気持ちが少し芽生えたので

はと感じました。

## 自己評価

1. 事業効果  
期待していた効果が上がった。
2. 改善すべき課題  
農業体験は、天候による日程の変更がたびたびあるので、スケジュールの段取りが大変である。子どもが主であるが、昨年までの協力的な親御さんが戸津行したりしたら、協力者を一から作らなければいけない。
3. 予算執行  
大きな変更を余儀なくされた。  
資金集めやイベントが、思うようにできずにイベントを縮小した。
4. 今後の展望  
資金的な事を解決するために、有料での参加も検討する。食育、体験に特化して行く。
5. その他  
事業を継続するスキームを作り上げたい。

霧島隼人  
**秋の大収穫祭**  
11月23日(土曜日) 10時~15時

JAあいら 新鮮野菜の特価販売  
かどしま特産品販売促進協会  
地元の方々に由る出店ブース

世界の餅つき体験!!  
つきまて餅の高さ1m!!  
シルバークンセン提供

鹿兒島ものまね軍団  
のど自慢カラオケ大会

僕たちが作った  
野菜を食べに来てね♪

鹿兒島ものまね軍団  
【2ステージ】11:00~14:00~  
地元歌手「はやと」も参戦!!

霧島・隼人秋の大収穫祭 カラオケ大会開催中  
【日時】11月23日(土曜日)10時~15時  
【場所】日当山温泉公園(鹿兒島県霧島市隼人町赤郷)  
【イベント内容】→入場無料→  
鹿兒島ものまね軍団 ライブ2ステージ・地域の特産品・餅つき大会  
カラオケ大会(豪華賞品もあり)・餅の試食・餅焼酎ふるまひコーナー  
【お問い合わせ】  
連絡先 霧島市隼人町姫城3-124 TEL:0995-42-0607  
HP: <http://hinatayama.net/>

【主催】霧島隼人町の産業観光振興会【共催】霧島市シルバーセンター【協賛】霧島市・霧島市教育委員会、(公)社団法人霧島市観光局、霧島市観光協会、日当山温泉旅館組合、アラスチオ

霧島・隼人「秋の収穫祭」

田植え・稲刈り



芋堀体験



そば打体験



案山子作り



霧島・隼人「秋の収穫祭」

そば打体験



団体情報

〈団体名〉霧島隼人 秋の収穫祭

〈代表者〉米田 知弘

〈設立日〉平成24年1月17日

〈会員数〉10人

〈主な活動内容〉

この実行委員会を立ち上げたばかりなので、実績はないが、メンバーは日当山温泉旅館組合、鮎祭り実行委員会、日当山夏祭り実行委員会などを兼務しており、温泉マップ作成や日当山温泉ガイドブック作成、認知症サポーター養成講座など。

〈連絡先〉

所在地

〒899-5111

霧島市隼人町姫城3丁目124

TEL 0995-42-0607

FAX 0995-43-5266

E-mail [kiyohime@po.mct.ne.jp](mailto:kiyohime@po.mct.ne.jp)

# 人と人の「絆」を育てる「アート」「音楽」「ヨガ」の異世代交流ワークショップ事業

## <こどもエンカレッジアート>

事業費：779,204円

市補助金：500,000円

### 目的（背景・課題）

震災以来「絆」という言葉が合言葉のようになりましたが、人と人とが、直接関わり合うことを避ける傾向があり、その風潮が「感謝の心」「同苦の心」「想像力」の低下の原因の一つとなっている。それらを育む優れたツール「アート」「音楽」「ヨガ」のワークショップを通して、自分と他人・社会・自然、様々な「つながり」と発見確認し、「孤独の社会」から、「共生の社会」への目覚めを目的とする。

### 事業内容

8月～11月 月1回実施（計4回）

・ワークショッププログラムには、自分や誰かを『励ます』とい付加価値を付け、これを目的に、コラボレーションワークを行った。

「絆」をテーマに「アート」「音楽」「ヨガ」を、コラボレーションワーク（共同作業）で異世代交流のワークショップを実施（10時～16時）

- ①「アート」：ユニット組み上げ・光をつかまえる・応援袋・2014年私のカレンダー等
- ②「音楽」：音を描く・音を感じる・歌い踊る等
- ③「ヨガ」：（シニアのメンバーに合わせて）腹式呼吸・身体を伸ばす、軽く動く・歩く等に加え「脳トレ」プログラムを実施。シニアも子どもも有意義に楽しく行えた。

参加者は、2回以上の参加者が多かった。

7月にプログラム検討・研究・確認を1回行う予定にしていたが、毎月プログラム検討を行い、ワークショップに臨んだ。

月々に、顔見知りのメンバーが増え、お互いに声掛けし、共同作業も楽しく行え、終了時には、又来月会いましょう！と地域の新たなつながりが

できていることを実感した。

予定より、幅広いプログラムとなり、発言やディスカッション、積極的な参加姿勢に講師・スタッフが励まされ、毎回生き生きとしたワークショップを開催することができた。

### 事業の成果

子ども、高齢者と同じ会場で、同じプログラムを実施することで、互いの発想や意見を見聞きし、様々な発見があり、共同作業では、互いを尊重しつつ制作し、他人の価値観を知り、異差を認めつつの作業となり、「感謝の心」「同苦の心」「想像力」が生まれ、励ましのワークショップとなった。

子ども達のノーマライゼーションの心が育まれる一歩となり、高齢者が子どもと接する喜びとし、子どもの発想に感動する場面も多々あり、異世代の交流が友好的になされた。

## 自己評価

1. 事業効果  
期待していた以上の効果が上がった。
2. 改善すべき課題  
あった。  
プログラムの「ヨガ」を「脳トレ」に変更した。軽い運動をしながらの「脳トレ」プログラムの方が望ましい。
3. 予算執行  
ほぼ予定どおり執行できた。
4. 今後の展望  
将来は、シニアクラスを週1回+子どもとシニアクラス合同クラスを月1回開催できるようになればと思います。
5. その他  
特になし。



## 団体情報

〈団体名〉 こどもエンカレッジアート霧島

〈代表者〉 原口 洋子

〈設立日〉 平成22年2月2日

〈会員数〉 9人

〈主な活動内容〉

平成22年2月 任意団体結成

「集まれ！こどもアーティスト！」「ユニバーサル・デザインって何？」「シニアの脳トレ&ストレッチ」「アート&イングリッシュ」等の子どもとシニア世代の為のワークショップを開催。

〈連絡先〉

所在地 〒899-6303

霧島市横川町中ノ 285-2

E-mail seimyoho @willcom.com

## 平成 25 年度 霧島市市民活動支援事業募集要項 (抜粋)

### 1 趣旨

近年、市民ニーズが複雑・多様化している中で、さまざまな市民グループにより地域の課題の解決やよりよい市民生活の実現のために、自主的・自立的な活動が行われています。このような市民グループが行う公益的(公共的)な活動に対して、その経費の一部を補助することにより、市民活動を促進し、共生・協働のまちづくりを進めるために、平成 20 年度から実施。

### 2 応募できる団体

ボランティア団体、NPO 法人などの市民グループ (法人格の有無は問いません)  
(主たる構成員が市内在住者等で、5 人以上の団体。地区自治公民館・自治会は対象外)

### 3 補助対象となる事業

公益的(公共的)なサービスを提供する市民グループの活動  
(これまでの活動を拡充する活動、新たに実施する活動)

### 4 補助額

補助対象経費の 3 分の 2 以内で、50 万円を限度とし、同一事業の補助申請は 3 回まで。

### 5 補助の対象となる経費

事業を実施するために直接必要とする経費

### 6 審査・選考方法

書類審査とプレゼンテーション(事業計画発表)による選考審査会を開催し、決定。

### 7 審査基準

#### (1) 公益性

事業の効果が、特定の者に限定されず、地域社会にひろく貢献するものであるか。

#### (2) 地域社会における必要性 (課題解決性)

地域社会の課題を的確に捉え、また、市民ニーズに対応し、その解決策として有効か。

#### (3) 先駆性・創造性

応募団体の既存事業を発展・拡充するもの又は新たに実施するものであるか。また、迅速性・専門性など特性を活かしたものであるか。

#### (4) 実現性

事業計画や実施体制は、具体的で実現可能なものであるか。

#### (5) 将来性

活動・効果が一過性でなく継続性が期待できるか。また、広く波及効果が期待できるか。

### 8 事業スケジュール

平成 24 年 10 月 31 日	募集期限
11 月中旬	書類審査 (一次審査)
1 月予定	プレゼンテーション審査 (二次審査)
2 月中旬	選考結果発表
4 月～翌年 2 月末	事業実施
平成 26 年 4 月予定	意見交換会 (事業成果報告会)

### 9 情報公開

応募状況、選考結果等について、市のホームページ等で公開します。

平成 25 年度 霧島市市民活動支援事業 応募・採択内訳

1 選考審査の結果

区 分	応 募	採 択
団 体 数	18 団体	14 団体
N P O 法 人	6 団体	5 団体
その他の団体	12 団体	9 団体
事 業 数	18 事業	14 事業
補 助 希 望 額	6,365,000 円	4,470,000 円

2 分野別内訳

分 野 別	応 募	採 択
保健・医療・福祉	2	2
社会教育	1	1
まちづくり	10	7
学術・文化・芸術・スポーツ	1	1
人権擁護・平和	1	1
子どもの健全育成	1	1
情報化社会の発展	1	0
農山漁村振興	1	1
合 計	18	14

平成 25 年度 霧島市市民活動支援事業 実施結果

	分野	団体名	事業名	事業概要	補助額(円)
1	まちづくり	霧島市溝辺ふるさと祭り実行委員会	霧島市溝辺ふるさと祭り	農業者や住民が一体となって取り組む霧島市溝辺ふるさと祭りの存在意義は大きく、溝辺地区の農業振興の一助を担っており、住民主導の祭りとして、より一層の地域の活性化を図る。	150,000
2	人権擁護・平和	生命のメッセージ展@霧島の学校実行委員会	生命のメッセージ展@霧島の学校	「生命のメッセージ展」を市内の学校で実施し、小、中、高校生に命の大切さを考える機会を与える。他人の命を思いやる事に心を砕き、いじめを止め、将来自動車運転を学ぶことから市内でのいじめ、飲酒運転を無くしたい。	240,000
3	保健・医療・福祉	特定非営利活動法人陽だまり	自閉症支援セミナー(自閉症の理解と支援)	自閉症児・者支援に関わる教育関係者・療育事業者・保護者等を対象に自閉症の理解とその支援方法について座学と実技演習を開催。また、アセスメントに基づく自立課題作成とその課題に基づく療育の実施を通し、自閉症の支援の考え方を理解してもらう。	78,000
4	まちづくり	オーシャンビューガーデンクラブ	旧田中家別邸を生かすふるさと再発見事業	文化財である「旧田中家別邸」の立派な庭園、建築物、主田中省三翁、俳人東野駄句楼翁を広く市民に再発見して頂くために、「旧田中別邸」を活かした催しを企画し開催する。	60,000
5	保健・医療・福祉	特定非営利活動法人 Ryouiku Circle はなはな	発達に課題を抱える子どもたちにスポーツの楽しさを	身体を動かすことが苦手、友達と遊んだりコミュニケーションをとるのが苦手、学校の勉強が苦手、といった発達に何らかの課題を抱える子どもたちにスポーツの楽しさを体験する機会を提供したい。	442,000
6	子どもの健全育成	特定非営利活動法人霧島食育研究会	第3期 霧島食育サポーター育成講座～「すがめちゃん食育プログラムの実証」～	霧島の食文化、食生活事情に配慮した食育教材を開発するとともに、市民を対象に食育リーダーの養成講座を行い、一般市民及び若者への食に対する意識と行動の変化を促し、さらに在住地や職場・学校等での食育活動の活性化を促進させる。	154,000
7	まちづくり	日当山夏祭り実行委員会	日当山夏祭り	以前の日当山夏祭りは40数年の歴史ある盛大な花火がメインの夏祭りであったが、市町村合併を経て諸事情が重なり中止となった。平成21年、新たに地元有志を中心に実行委員をたちあげ地域の特性を活かした手づくりの祭りとして復活した。昨年は小規模ながら花火も5年ぶりに打ち上げ盛り上がった。	500,000
8	学術・文化・芸術・スポーツ	霧島市子ども囲碁教室実行委員会	きりしま子ども囲碁教室	5歳児から小学6年生までの児童を対象に、毎週土曜日の10時から12時まで、市総合福祉センターで囲碁教室を開講する。内容は囲碁に関する基本的な見方・考え方を理解させ、棋力の向上と相互の親睦を図るとともに、心豊かな青少年の健全育成を目指す。今年度は、7名の指導者が、一般と指導法の工夫・改善に努め、本教室(20名程度)を強化する。	52,000

	分野	団体名	事業名	事業概要	補助額(円)
9	まちづくり	エコミュージアム福山	福山まるごと博物館	本事業は、歴史・自然・文化など地域遺産・資源を総合的に学び・守り・伝え・活かすことを通して地域の活性化を図るエコミュージアム理念を土台として、福山の特性を活かしたまちづくりを進めることを目的とする。そのために、①地域遺産・資源の学びと活性化のための事業(地域コンサート・ミカン狩り・福山まるごと博物館マップで散策など)②福山の地域遺産・資源の記録(黒酢の里マップづくりの作成など)を行う。	78,000
10	まちづくり	特定非営利活動法人 隼人シニアネット絆	お互いに楽しく支え合う町づくりに関する事業	大隅隼人の反乱で犠牲になった隼人族の霊をなぐさめるため始まり、今年が1300年にあたり記念すべき年となる。永き亘り連続として行われてきた「大隅一之宮鹿児島神宮浜下り」が昭和9年まで行われてきたが、戦時中途絶えてしまった。この歴史と伝統ある行事を復活させたいと願う有志等が、2000年10月伝統行事の伝承と地域の活性化を目的に65年ぶり復活させ、今年で14回目の浜下りとなる。一昨年より霧島シニアネット絆(旧姓・隼人シニアネットきずな)が引き継ぎ浜下りと地域が一体となって活性化を図るためのイベントを行うものである。また浜下りと関係の深い八幡屋敷周辺・伽藍神社・熊野神社境内・道路沿いにドーム菊や草花を植え環境美化と住みよいまちづくりをしようとするものである。	300,000
11	まちづくり	霧島隼人秋の収穫祭実行委員会	霧島隼人秋の収穫祭	地域の子どもたちを中心に地元の名産である芋などの農産物を自分たちの手で育て、その収穫物から焼芋や餅を作り、収穫祭のイベントで多くの人たちに披露することで、食育や地元の良さを知ってもらうため。	500,000
12	社会教育	こどもエンカレッジアート	人と人の「絆」を育てる「アート」「音楽」「ヨガ」の異世代交流ワークショップ事業	「アート」「音楽」「ヨガ」を、ペアで描き・ディスカッションし、協働作業する事で、共に創造・発見・感動し、差異を超え、讃え合うワークショップ。これまで鹿児島で、子どもを対象としたワークショップをしていたが、霧島では、対象を子どもとシニアを含む大人とし、異世代交流となり、ノーマライゼーションの心を育むなど様々な効果が広く深くなる事が期待できる。	500,000
合 計					3,054,000

※ 採択14団体のうち、2団体については諸事情により事業の実施ができませんでした。

平成 25 年度  
霧島市市民活動支援事業成果報告書

平成 26 年 9 月

霧島市役所 企画部 共生協働推進課

〒899-4394 霧島市国分中央三丁目 45 番 1 号

T E L 0995-64-0988 (直通)

F A X 0995-47-2522

E-mail [kyodo@city-kirishima.jp](mailto:kyodo@city-kirishima.jp)